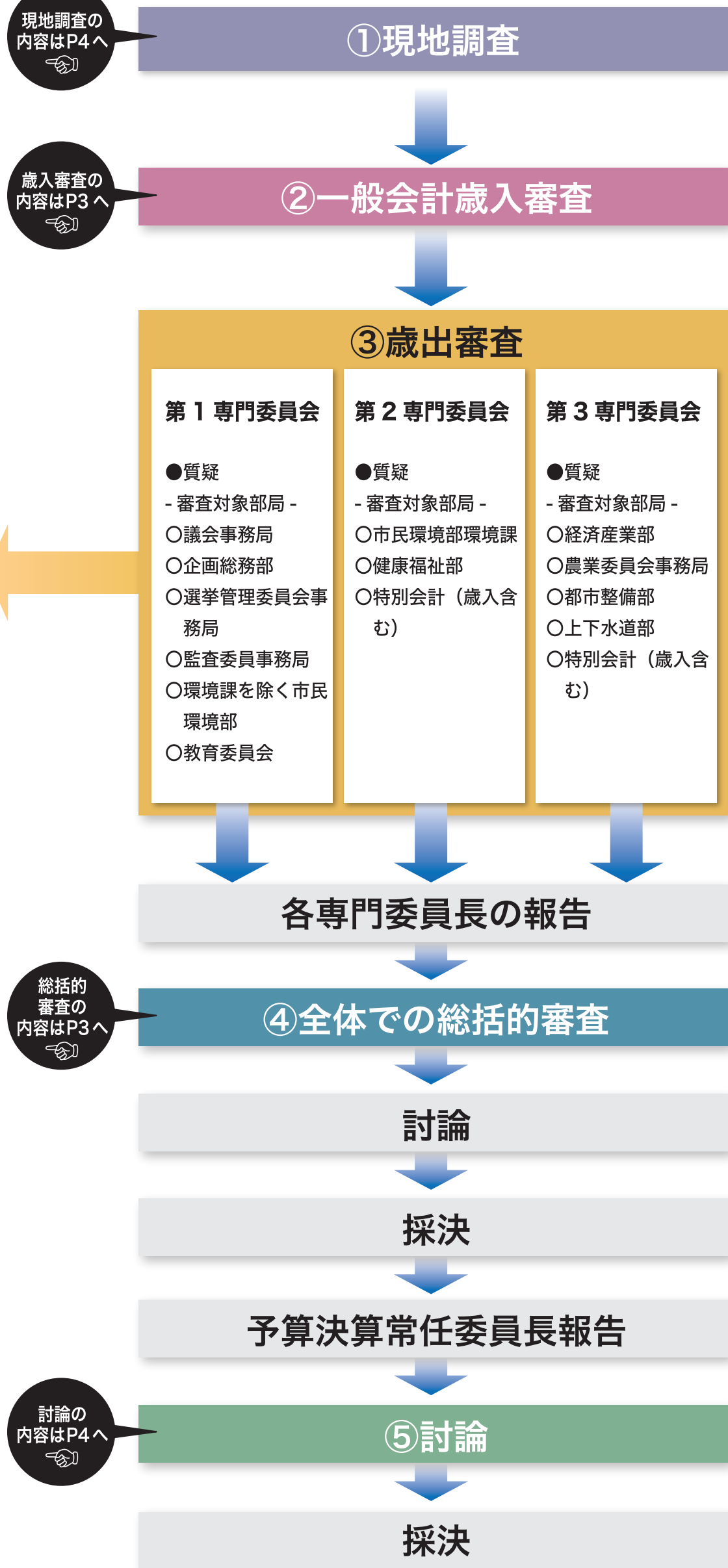


# 平成27年度決算審査報告 決算審査の流れ



## ③歳出審査

### 第1 専門委員会

歳出の審査は、予算決算常任委員会の中に「専門委員会」を設置し、第1から第3の3つの専門委員会に分かれ行われています。

専門委員会は、普段調査活動を行っている「総務教育常任委員会」「環境厚生常任委員会」「産業建設常任委員会」の委員などで構成し、日ごとの調査活動を踏まえ、より専門的な視点で審査することが出来ます。

歳出は、皆さまから納めていただく大切な税金を、いかに効果的に分配しているのかなど、主に質疑を通じて市の考え方や取り組みなどについて審査しました。

質疑及び答弁の内容の一部をご紹介します。

### 第2 専門委員会

伝統文化の後継者不足に対する市の対応は、市の行事等で演じる場の提供や、市の広報ホームページで取り上げ周知していく。

1回目の入札は不落だった。再度見積りをし、46億7千万円を上限として、45億4千万円で完成する。

指定管理に含めるか、外部委託とするか検討中。

各学校の児童生徒は減っているが、受給者はここ数年増加している。

### 第3 専門委員会

3専門委員会では経済産業部が担当する分野からは「農業、観光、企業振興」、都市整備部が担当する分野からは「道路交通政策、空き家対策」。

相談は143人のべ234件、申請は47件で44件を保護、3件は却下。ケースワーカーは5名、うち1名がベテラン職員で、さまざまな研修を受け育成している。

12月7日以下の方も100日以下の方もいる。

12月7日以下の方もいる。

## ②一般会計歳入審査

### ①一般会計歳入

費税アップによる駆け込み需要と考える。

地方交付税が増えた要因は、基準財政需要額で生活保護費、高齢者保健福祉費等2億3554万円2.9%増えた。しかし、基準財政収入額も5.3%増えている。

特定防衛施設周辺整備調整交付金の基金繰入の内容は、基金条例により一本木4号線他2整備事業と同じ期間だけ積み立てて利用するもので、29年度末でなくなっている。

岩手型牧草地再生対策事業補助金の内容は、震災による牧草地の更新を面積で85.92ha、内訳は、農家戸数23戸76.75ha、相の沢牧野・社費等2億3554万円17haで28年度で終了した。

### ②一般会計歳出

岩手型牧草地再生対策事業補助金の内容は、震災による牧草地の更新を面積で85.92ha、内訳は、農家戸数23戸76.75ha、相の沢牧野・社費等2億3554万円17haで28年度で終了した。

指定管理に含めるか、外部委託とするか検討中。

各学校の児童生徒は減っているが、受給者はここ数年増加している。

12月7日以下の方もいる。

### ③一般会計歳入

費税アップによる駆け込み需要と考える。

地方交付税が増えた要因は、基準財政需要額で生活保護費、高齢者保健福祉費等2億3554万円2.9%増えた。しかし、基準財政収入額も5.3%増えている。

特定防衛施設周辺整備調整交付金の基金繰入の内容は、基金条例により一本木4号線他2整備事業と同じ期間だけ積み立てて利用するもので、29年度末でなくなっている。

岩手型牧草地再生対策事業補助金の内容は、震災による牧草地の更新を面積で85.92ha、内訳は、農家戸数23戸76.75ha、相の沢牧野・社費等2億3554万円17haで28年度で終了した。

### ④一般会計歳出

岩手型牧草地再生対策事業補助金の内容は、震災による牧草地の更新を面積で85.92ha、内訳は、農家戸数23戸76.75ha、相の沢牧野・社費等2億3554万円17haで28年度で終了した。

指定管理に含めるか、外部委託とするか検討中。

各学校の児童生徒は減っているが、受給者はここ数年増加している。

12月7日以下の方もいる。

